

支部広報

No. 329 2023.8

「国際クルーズ船入港再開」



5月2日函館港入港「ダイヤモンド・プリンセス」

出展：函館市観光情報

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、日本では2020年3月以降、国際クルーズ船の運航が停止しておりましたが、関係業界団体による感染症予防対策に関するガイドライン等の策定を受け、国土交通省が2022年11月に国際クルーズ船の受入再開を決定しました。

この決定を受け、函館税関管内では、本年3月21日に、マルタ船籍「アザマラ・クエスト」が青森港に入港したのを皮切りに、多数の港で国際クルーズ船の入港が再開しています。

函館港では、3月25日にバハマ船籍「シルバー・ミュージック」が再開後初めて入港したほか、2023年は43隻の入港予定があり、コロナ禍前の2019年の34隻を上回る予定となっています。函館港では、従来の港町ふ頭に加え、2016年度か

ら若松ふ頭で旅客船岸壁の整備工事が始まり、2022年には同ふ頭に国際クルーズ船用のターミナルビルが完成する等、受け入れ態勢が整備されました。若松ふ頭は市内中心部に位置し函館朝市や西部地区等の観光スポットも徒歩圏内にあり、今後の利用拡大への期待も高まっています。

函館税関管内では2023年、国際クルーズ船の入港が、函館、小樽、室蘭、苫小牧、釧路、網走、根室（花咲）、秋田、能代、宮古、青森、八戸の12の開港のほか、奥尻、利尻の離島にも入港予定（入港済含む。）があり、地域経済や観光産業の回復に大きく寄与しています。

2023年度 支部定時幹事会・事業報告会を開催

函館支部は、6月8日（木）函館国際ホテルにおいて、2023年度支部定時幹事会及び事業報告会を開催しました。

定時幹事会は、本部から魚総務部長を迎え、支部役員24名の出席を得て審議が行われ、事務局から提出された

- ① 2022年度支部事業報告に関する件
- ② 2022年度支部決算報告に関する件
- ③ 2023年度支部事業計画に関する件
- ④ 2023年度支部予算に関する件
- ⑤ 支部役員を選任に関する件

の各議案について、提案どおりに全会一致で承認されました。



定時幹事会

引き続き会員126名の出席を得て開催された事業報告会は、久保支部長の挨拶、事務局からの定時幹事会各承認事項の報告、関税協会本部魚総務部長の挨拶と続き、来賓の佐野函館税関長からは、祝辞と講演を頂戴しました。

佐野税関長は、「最近の税関行政（税関発足150周年）」と題し、

1. 150周年関連事業
2. 税関150周年の歩み

3. 函館税関管内トピック

4. 150周年のその先へ

と多岐にわたり講演され、参加した会員は興味深い話に熱心に聞き入っておりました。



講演する佐野函館税関長

続いて開催された、当支部、函館通関業会、函館税関保税会共催の懇談会には、函館税関幹部の方々にもご出席いただき、大変和やかな雰囲気の中で意見交換が行われ、税関及び会員相互の親睦を深めて盛会裏に終了しました。



親睦を深めた懇談会

事業報告会 支部長挨拶 支部長 久保俊幸



平素は、当協会の事業運営と支部活動に対しまして、会員各位から多大なご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、佐野函館税関長におかれましては、公務ご多忙のところ、ご臨席を賜り衷心よりお礼を申し上げます。

さて、最近の我が国経済は、社会活動の正常化や水際措置の緩和によるインバウンド需要の回復など、コロナ禍からの緩やかな持ち直しが続く一方で、ウクライナ情勢や米中関係などの地政学上のリスクや、欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退など先行き不透明な不安定要素が多々存在する状況にあります。

我が国の貿易や関税行政を取り巻く環境も、絶え間ない変化を見せてきており、昨年1月に発効されたRCEP協定を含めて、EPA締約国間の貿易額が日本の貿易総額の8割を占めるまでに至っており、我が国の経済や貿易に携わる会員企業の業務にも影響を及ぼしてきております。

また、関税局・税関では、使命とする「安全・安心の確保」の面でも、不正薬物の押収量が7年連続1トン越えと高水準で推移し、ロシアによるウクライナ侵略に対する『ロシア等に対する輸出入禁止措置』や、越境電子商取引（EC）の拡大

に伴う『輸入貨物の急増への対応』にも尽力されております。

さらには、先日無事に開催された『G7広島サミット』におけるテロ対策等、幅広い分野に力を注ぐ必要があるとのことで、私ども貿易関係業界におきましても、貿易秩序の維持や国民の健康・安全、犯罪抑止等の観点から、今後とも税関の取締へも協力していくこととしております。

日本関税協会では、これらの施策等に協力しつつ、国際貿易の振興や我が国経済の発展に寄与すべく、公益性のある質の高いサービスを提供するよう努めていくこととしており、函館支部におきましても、本部や各地区協議会のご協力も頂きながら、積極的に事業活動を推進し、支部会員と函館税関ご当局とのパイプ役としても尽力して参る所存でございます。

貿易を取り巻く環境が刻々と変化する中、会員の皆様には、講演会、説明会、セミナー、各種刊行物、ホームページなど日本関税協会の発信する様々な情報を大いに活用され、情勢の変化をいち早く捉えて的確に対応していかれることを期待しますとともに、今後とも協会事業にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではありますがご挨拶とさせていただきます。

事業報告会 本部役員挨拶 総務部長 魚 秀樹

最初に、函館支部におきましては、久保支部長をはじめ、会員の皆様方には、平素より関税協会の事業活動について、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、今期役員改選では、函館支部から、西宮公平様が、本部評議員として、栗林定正様が、本部理事として、引き続きご就任いただき、協会事業の運営にご尽力いただくこととなりました。

新体制の下、各種事業を積極的に推進して参りますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

また、佐野函館税関長をはじめ税関幹部職員の皆様には、日頃から講演会、地区協議会、各種セミナー等、支部の事業活動への多大なるご協力をいただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大から3年が経過し、コロナも5類へ移行され、我が国の社会経済活動も緩やかに正常化へと進んでいくのではないかと感じている一方で、ロシアのウクライナ侵攻に伴う国際貿易や物流への悪影響や米中貿易問題における我が国への経済、ひいては世界的な経済への影響が懸念されております。

こうした中であって、当協会を取り巻く環境は、会員数の減少など厳しいところではございますが、新規入会の増加に向けて、賛助会員専用サイトでの情報提供のほか、原産地規則説明会、貿易実務や税関業務に関する研修会などのオンラインセミナーを積極的に展開し、会員サービスの充実を図って参りたいと考えております。

とはいうものの、会員様だけが全てではございませんが、公益事業の実質的なかなりの部分については、こちらにいらっしゃる貿易に携わる方々、中でもそれぞれの業界における高く重要な地位を占め、さらには私どもの事業運営に深い理解をいただいている方々が賛助会員でございます。従って、こういう方々へのサービスの充実を図っていくことが我々の使命だと考えております。

当協会も2011（H23）年に公益財団法人へ移行し、本年、13年目へ突入いたします。これまでも関税局や税関ご当局からのご協力や会員の皆様からのご支援のもとに、引き続き、貿易の一層の促進を通じ、日本経済の発展に向け、本部・支部が一丸となって、各種事業をこれまで以上に積極的に推進して参りたいと存じます。ご要望があれば、遠慮なく事務局までご連絡をお願いします。

最後になりましたが、本日お集りの皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

公益財団法人日本関税協会理事長

木村幸俊 代読

函館税関幹部



2023年度の人事異動が発令され、函館税関の新しい陣容が決まりました。
函館税関長、各部長及び各部次長のプロフィールをご紹介します。(敬称略)



第82代 函館税関長

かさ かわ たか ひろ
笠 川 隆 博

出身地：大阪府

《職歴》

昭和 58年 大蔵省入省（大阪税関）
平成 15年 大阪税関関西空港税関支署業務管理課
課長補佐
17年 財務省関税局管理課税関審査官
19年 〃 総務課税関審査官
21年 大阪税関大阪外郵出張所総務課長
23年 〃 関西空港税関支署総務課長
25年 〃 業務部税関訟務官
26年 〃 総務部人事課長
28年 沖縄地区税関沖縄税関支署長
29年 〃 次長（監視担当）
30年 大阪税関関西空港税関支署次長
令和 元年 財務省関税局管理課税関審査管理室長
3年 大阪税関業務部長
4年 〃 総務部長
令和 5年 現 職

《好きな言葉》 「一念通天」

ひたすら信じて念じ続ければ、必ず天に通じる、すなわち、固い決意を抱いて、一心に取り組めば、その努力は必ず実を結び、物事を成し遂げることができるという意味で、これは、税関行政にも通じることではないかと思えます。己を信じ、これからもこの思いで取り組んでいきたいと思えます。

《趣味》 「映画鑑賞」

特に、洋画のアクション映画が好きです。

《スポーツ》 「ゴルフ」「ウォーキング」

趣味は、下手ですが一応ゴルフです。スコアは二の次に（本当は気になるのですが）、家族や同僚等とゴルフを楽しんでいます。

その他は、趣味とまでは言えませんが、健康管理のために、気が付いた時には、できるだけジョギングまたはウォーキングをするよう心掛けております。函館に来てからはまだ、あまり出来ていませんので、そろそろ本格稼働しないといけないと思っています。

《嗜好品》 「お酒」

お酒は、ビール、日本酒、ワイン、焼酎、泡盛、サワーとなんでも好きですが、年々お酒が弱くなってきており、最近は酒量を控え目にしております。

《函館の感想あるいは着任の抱負等》

函館は、風光明媚で、温泉や新鮮な海の幸など観光資源が多く、魅力ある街だと感じております。

函館での勤務は初めてですが、税関の使命を全うするため、これまでの経験を活かし全力で取り組むとともに、地域社会の安全・安心と、地域経済の健全な発展の一助となるよう取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

総務部長



かわ さき たつ や
川 崎 達 也

出身地：茨城県

《職 歴》

昭和 59 年 大蔵省入省（横浜税関）
 平成 16 年 財務省大臣官房文書課課長補佐
 17 年 " 大臣官房会計課課長補佐
 18 年 " 大臣官房秘書課課長補佐兼大臣室付主任
 21 年 " 大臣官房文書課課長補佐
 28 年 九州財務局鹿児島財務事務所長
 30 年 財務省大臣官房専門調査官
 兼大臣官房総合政策課政策推進室長
 兼内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画官
 令和元年 財務省大臣官房文書情報管理室長
 4 年 預金保険機構総務部審理役兼監査室
 5 年 現 職

《好きな言葉》 「守破離」

「守破離」は、茶人「千利休」の教えをまとめた「利休道歌」にある和歌の一つから来ている言葉で、「師の教えを守りながら鍛錬し、それをいつかは自分で破り、やがて独自のものを見つけることになって、本質を忘れるな。」という意味だと若い時に剣道の恩師から教わりました。

《趣 味》

身体を動かすことが大好きです。

《スポーツ》 「フィットネス」「剣道」「マラソン」

小学校から剣道、税関からマラソン、40歳後半からジム通いをしています。函館でもすでに2か所のスポーツジムに入会しました。

《嗜好品》

お酒（全般）、魚介類（玉ねぎが苦手です。）

《函館税関の感想あるいは着任の抱負等》

ここ函館で23年ぶりの税関勤務となり、身の引き締まる思いです。
 地域の皆様からご指導をいただいて職務を全うし、函館のため、日本のために尽力したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

監視部長



たか ぎ のり ひろ
高 城 典 裕

出身地：北海道

《職 歴》

昭和 58 年 大蔵省入省（函館税関）
 平成 18 年 函館税関苫小牧税関支署統括審査官（総括・通関第1部門担当）付上席審査官
 20 年 " 総務部会計課課長補佐
 23 年 " 苫小牧税関支署統括監視官（検査部門担当）
 24 年 " 苫小牧税関支署統括審査官（総括・通関第1部門担当）
 25 年 " 業務部統括審査官
 27 年 " 苫小牧税関支署管理課長
 29 年 " 業務部管理課長
 30 年 " 総務部人事課長
 令和 2 年 " 苫小牧税関支署長
 3 年 " 札幌税関支署長
 4 年 " 総務部次長
 5 年 現 職

《好きな言葉》 「謙虚にして驕らず」

現在は過去の努力。未来はこれからの努力。明日からもコツコツやっています。

《趣 味》

ガジェット、スポーツ観戦

《スポーツ》

やるのはゴルフ、バドミントンなど比較的小さい球のスポーツが好きです。

観るのは陸上や球技、モータースポーツ、eスポーツなどほぼなんでも好きです。

《嗜好品》

ビール、コーヒー。日本酒は記憶をなくすので控えています。

《函館の感想あるいは着任の抱負等》

昨年の総務部次長から引き続きになりますが、皆様と積極的にコミュニケーションを図りながら、北海道、東北の経済の発展に寄与し、国民の安全で安心な社会の実現に向けて邁進してまいりたいと思います。

引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



業務部長

こん どう まさ のぶ
近 藤 昌 伸

出身地：栃木県

《職 歴》

- 昭和 62 年 大蔵省入省（東京税関）
- 平成 15 年 沖縄地区税関総務課課長補佐
- 17 年 東京税関業務部統括審査官（通関総括第 2 部門担当）付上席審査官
- 19 年 // 業務部統括審査官（通関総括第 1 部門担当）付上席審査官
- 20 年 // 業務部統括審査官（通関総括第 3 部門担当）付上席審査官
- 20 年 郵便事業株式会社本社管理部門人事部課長
- 22 年 東京税関東京外郵出張所特別審査官
- 23 年 // 業務部統括審査官（減免税総括部門担当）
- 25 年 // 東京外郵出張所統括審査官（通関総括第 1 部門担当）
- 27 年 // 酒田税関支署長
- 29 年 // 総務部税関広報広聴室長
- 30 年 // 業務部管理課長
- 令和元年 沖縄地区税関次長（業務担当）
- 2 年 名古屋税関業務部次長
- 3 年 神戸税関業務部次長
- 4 年 長崎税関業務部長
- 5 年 現 職

《好きな言葉》 「楽しく」

同じやるなら、何事も楽しくやるよう努めている。長続きのコツでもある。

《趣 味》 「住んでいる街を楽しむこと」

いろいろと新しい発見・体験が続いています。

《スポーツ》 「プール」

泳ぎません、ぱちやぱちやする程度です。

《嗜好品》 「コーヒー」

とりあえず、朝の一杯！

《函館の感想あるいは着任の抱負等》

これまで6つの税関で勤務して、日本郵便(株)出向中に7税関の職員と仕事をしました。

今回の函館税関勤務で、何らかの形ですべての税関の方々とお仕事で関与することになりました。

どこの土地で仕事をしても、日本関税協会と税関は緊密な良いパートナー関係を築いておりましたので、函館においてもこれを実践してまいりたいと思っています。



調査部長

わ だ よし ろう
和 田 芳 郎

出身地：宮崎県

《職 歴》

- 平成 3 年 大蔵省入省（東京税関）
- 12 年 門司税関田野浦出張所統括審査官（通関第 2 部門担当）付上席審査官
- 13 年 // 博多税関支署統括保税実査官付上席保税実査官
- 14 年 東京税関総務部付兼外務省北米局日米安全保障条約課日米地位協定室課長補佐
- 16 年 横浜税関業務部関税鑑査官
- 17 年 財務省関税局関税課課長補佐
- 18 年 東京税関業務部関税鑑査官
- 22 年 // 調査部統括調査官兼税関研修所研修・研究部教官
- 24 年 // 調査部統括調査官兼税関研修所研修・研究部主任教官
- 25 年 横浜税関調査部統括調査官（調査第 1 部門）
- 26 年 // 千葉税関支署木更津出張所長
- 27 年 // 川崎税関支署次長
- 28 年 国立研究開発法人理化学研究所 監事・監査室調査役
- 30 年 門司税関博多税関支署次長
- 令和 2 年 大阪税関業務部次長
- 3 年 // 監視部次長
- 4 年 名古屋税関監視部次長
- 5 年 現 職

《好きな言葉》 「三業一体」

文楽・人形浄瑠璃では太夫、三味線、人形遣いの三業（三者）が洗練した技をぶつけ合い、一体となって豊かな芸の世界を見せてくれます。

税関においても監視・業務・調査の三部が連携し、一体となって対応することが重要と考えております。

《趣 味》 「歌舞伎」「落語等の古典芸能鑑賞」「長唄三味線」「温泉」

《スポーツ》 「テニス」

学生時代は運動音痴、奉職してから打ち上げ（呑み会）目的で参加したところ、ハマりました。ただし下手の横好き。

《嗜好品》

焼酎及びワイン並びにあてとなる美味しい食材。

《函館の感想あるいは着任の抱負等》

着任早々、想定外の暑さと想定以上の美味しい食材の数々に驚愕しております。

これまた想定をはるかに超える広大な管轄区域を限られた人数で効果的・効率的に業務遂行して参ります。よろしくご願ひ申し上げます。



総務部次長

おお やま ふみ ひろ
大 山 文 弘

出身地：北海道

《職 歴》

昭和 60 年 大蔵省入省（函館税関）
 平成 20 年 函館税関釧路税関支署網走出張所長
 22 年 〃 総務部総務課課長補佐
 25 年 〃 調査部情報管理官（通関情報部門担当）
 26 年 東京税関調査部情報管理官
 28 年 函館税関総務部企画調整官
 30 年 〃 総務部税関審査官
 令和 元年 〃 業務部管理課長
 2 年 〃 総務部人事課長
 4 年 税関研修所研修・研究部長
 5 年 現 職

《好きな言葉》

「明けない夜はない」
 仕事が大変なとき、先が見えないときにあっても、この言葉が念頭にあったような気がします。

《趣 味》

仏像巡りと LIVE（音楽）に行くことです。函館に行るとなかなか機会がないのが残念です。

《スポーツ》

週末のジョギングとバドミントン&ソフトバレーのサークルで汗を流しております。今年は久しぶりにスキーにも行きたいですね。

《嗜好品》

もともとビール好きですが、最近は日本酒を嗜むことが多くなってきました。

《函館の感想あるいは着任の抱負等》

会員の皆様のご理解・ご協力を賜りながら、業務運営に努めてまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いたします。



監視部次長

かね こ けん いち
金 子 憲 一

出身地：群馬県

《職 歴》

平成 7 年 大蔵省入省（東京税関）
 20 年 東京税関総務部付 兼 外務省北米局日米安全保障条約課課長補佐
 21 年 〃 調査部統括調査官 兼 税関研修所研修・研究部教官
 22 年 財務省関税局関税課課長補佐 兼 関税局業課課
 24 年 〃 関税課（参事官室（国際調査担当））課長補佐
 25 年 関税中央分析所総務課長
 26 年 財務省関税局関税課（経済連携室）課長補佐 兼 内閣官房副長官補付（TPP 政府対策本部員）
 27 年 函館税関総務部総務課長
 29 年 東京税関大井出張所次長
 30 年 〃 業務部総括原産地調査官
 令和 元年 大阪税関関西空港税関支署次長
 2 年 東京税関業務部次長
 3 年 財務省大臣官房付 兼 内閣官房副長官補付企画官 兼 内閣官房成長戦略会議事務局企画官 兼 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局企画官
 3 年 兼 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局企画官 兼 内閣官房新しい資本主義実現本部事務局企画官
 4 年 現 職

《好きな言葉》

「自然体」
 仕事をしていくうえではがんばることはもちろん重要ですが、無理をせず自分らしく過ごす時間も大切にしたいと思っています。

《趣 味》

乗り物が好きで、若い時はツインターボ（4 輪）や 1000 cc（2 輪）に乗っていました。
 今年久しぶりに大きな車を購入しました。

《スポーツ》

スポーツと言えるかわかりませんが、しいて言えば、年一回の富士登山です。
 昨年からは函館勤務のため富士山までは行けませんでしたので、昨年は駒ヶ岳に登りました。

《嗜好品》

ビール（類）

《函館の感想あるいは着任の抱負等》

昨年に続き、会員の皆様のお力添えを頂きながら、一年間円滑な業務運営が行えるよう努めてまいりたいと思います。引き続き、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願申し上げます。

事務局からのお知らせ

新刊図書発行予定のご案内

基礎から学ぶ貿易実務（日英対訳）【改訂版】

今や多くの事業者において、資材調達、海外販売など国をまたがる貿易取引は当たり前になっています。

外国人スタッフが在職している事業者も多くなっている中、国籍を問わずスタッフ全員と一緒に貿易実務を基礎から学べることを目指し、本書は日英対訳としました。

海外事業に対するコンサルタント経験豊富な著者が、これまでの経験から、貿易実務の基礎知識としてここだけは押さえておきたいというポイントをわかりやすくまとめています。図解や表などを駆使し体系的に全体像がつかめるように工夫されていますので、これまでつかみにくかった取引の流れの全体像や、主要書類の役割などがすぐに理解でき、明日からでも海外の取引相手との交渉など実務の中で活用することができます。

発行予定日：2023年10月上旬

価格：未定

お申し込みは、日本関税協会函館支部まで。

今後の行事予定について（函館支部）

・9月27日（水）

新千歳空港国際線施設見学会・空港における税関業務説明会

*今年度の新たな企画として、千歳税関支署の協力をいただき開催します。近日中に会員の皆様にご案内いたします。

・10月26日（木）

税関関係3団体共催幹部セミナー 於：函館国際ホテル

2024年度 総会等の開催予定

税関関係3団体の来年度の総会等は、次のとおり予定しております。

開催月日：2024年6月13日（木）

開催場所：函館国際ホテル

函館市大手町5-10 TEL (0138) 23-5151

- 函館通関業会
定時理事会、総会
- 函館税関保税会
理事会、定時総会
- 日本関税協会函館支部
定時幹事会、事業報告会
- 懇談会（3団体共催）

地区別会員数（2023年8月現在）

函館	21	留萌	6
札幌	32	根室	11
苫小牧	44	八戸	28
小樽	25	秋田	26
釧路	41	岩手	20
室蘭	18	青森	7
稚内	9		
		合計	288

公益財団法人日本関税協会函館支部

TEL (0138) 43-3114 FAX (0138) 44-3413

URL <https://www.kanzei.or.jp/hakodate/>